

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	議会図書室利用推進事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	議会事務局			
施策	6-3	地方分権・広域行政への取組		主管課長	玉田 雅則			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	・市民 ・議員 ・職員	意図	議会図書室の書籍等を充実させ、市民・議員・職員にも使いやすい図書室とする。
事業内容	書籍や官報・広報・刊行物等の公文書の収集を中心に整備を行っている。			
事業開始から現在までの状況変化	書籍や官報・広報・刊行物等の公文書の収集を中心に整備を行っているが、情報公開を積極的に進めることから、各議員が調査研究のために必要な経費の一部として交付されている政務活動費及び各常任委員会等が実施している行政視察報告書を公開している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	書籍の購入冊数	12	8	12	冊	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	図書購入については、毎年予算を計上して購入しているが、充実までは至っていない。		

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	686,500	671,200	659,200
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)	686,500	671,200	659,200
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	図書購入のさらなる工夫や、図書室利用のPRに努める。	③取組における課題(Check)	運用上市民の方も図書室も利用できるように対応しているが、管理規程上は「議員の調査研究を妨げない範囲内」との規定となっている。
②H30に実施した取組(Do)	配架図書の精査を行い、情報が古い資料は廃棄した。さらに、利用しやすい図書室となるよう、図書室全体の整理整頓を継続して実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	図書等資料収集のさらなる工夫や、図書室の整理整頓に努め、利用のPRに努める。